

屋根・樋工事報告

平成15年4月22日

施工：桜田板金工業所

3月18日の点検時には樋がこの様に詰まっていました。
取り除いてもすぐに詰まってしまいます。



ステンレス製のパンチングメタルを使用し詰りにくい
なっていますが、いつか必ず詰まります。
(定期的にゴミを取る必要があります)



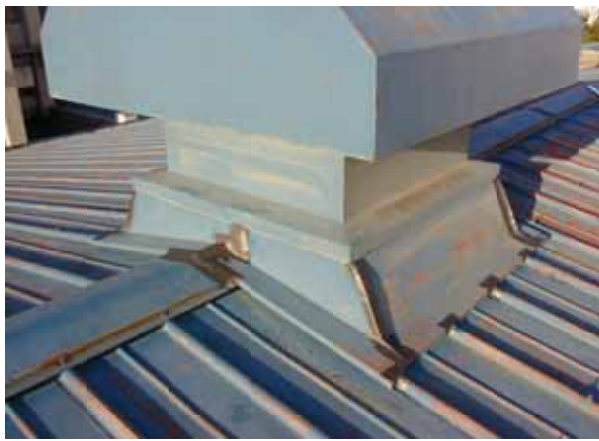
もし、ゴミが詰まった時には下のカバーより
雨水が落ち外部から見てすぐに分かります。



屋根の棟の接続部納めと取付用の釘が抜けて
いました。このままでは強風などで棟が吹き
飛んでしまったでしょう。



棟の接続部にアルミテープを貼り、棟を抜け
にくいビスで止め、コーキングを塗っています。



雪止めアングルの状況
雪に押されて金具よりアングルが外れそうになっていました。

教頭先生から指摘があり、ファン部廻りを修理しておきました。
しかし、強風を伴う雨の場合にはファン上部の換気部から吹き込む可能性もあります。
(2箇所修理してあります)

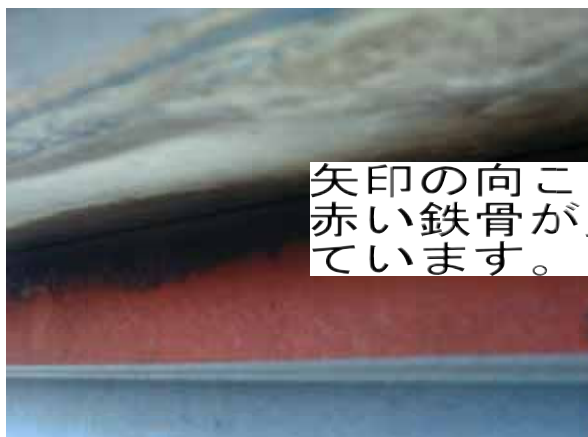
すべての金具とアングルをステンレスの針金で固定しました。またアングルの接続部もすべて固定してあります。



屋根の軒先の状況
矢印のように雨水が落ちていました。
風を伴う雨の場合には建物側に入っていたと思います



風の伴う雨でも大丈夫の様に水切りを取付ました。



矢印の向こうは赤い鉄骨が見えています。

